

桐生西ロータリークラブ週報

2009-10年度RIテーマ

ジョン・ケニーRI会長 ロータリーの未来はあなたの手に



例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス
 TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi
 会長 下井田秀一 クラブ会報・雑誌委員長 松原 豊
 幹事 向田 靖 委員 井本上輔・正田恵一

No. 1761

2010年3月26日発行

第1869例会 (2010・3・19) 報告

養護老人ホーム 高津戸荘 職場訪問

1. 昼食 (12:00～12:30)
2. 点鐘 (12:30)
3. ロータリーソング
4. 来訪者紹介
5. 介護用具贈呈
6. 会長報告
7. 幹事報告
8. 委員会報告
9. 点鐘

職場訪問次第

- 司会 岡田職業奉仕委員長
1. 会長挨拶 桐生西RC会長 下井田秀一君
 2. ご挨拶 社会福祉法人柏理事長 水澤末吉様
 3. 高津戸荘との歴史 奉仕PJ委員長 金子福松君
 4. 『高津戸荘』の概要 高津戸荘主任 関根雅広様
 5. 施設見学及び入所者と交流 (解散13:30)

下井田年度の職場訪問は、クラブ創立時から交流のある養護老人ホーム『高津戸荘』を訪問先として開催しました。また、地区補助金やRI意義ある業績賞の申請を済ませた“介護用具”の贈呈式を、社会福祉法人『柏』理事長の水澤様ご臨席の上、挙行いたしました。その後、施設見学とあわせて、お贈りしたりハビリ効果のある遊具を使って、入所者のお年寄りと会員との交流を行いました。

高津戸荘の関根主任のご説明によると、入所者は定員50名のところ現在46名で、男性15名、女性31名と圧倒的に女性が多く、平均年齢は約80歳、桐生市・みどり市とその近郊の方々が入所されております。職員数は併設されている『訪問介護たかつど』とあわせて21名の方が在職されているそうです。

38年という永い交流の歴史を持つ高津戸荘に、今回初めて訪れた会員も少なくなく、職員の方々の明るく親切な応対や、施設全体の清潔で明るく活発な雰囲気で大変感心致しました。平成17年に優良施設として天皇陛下より御下賜金を贈られた事もしかりとうなずける素晴らしい環境の『高津戸荘』でした。



高津戸荘集會室での例会風景



下井田会長から水澤理事長へ介護用具目録贈呈



会員と入所者との交流

◆ピジター

社会福祉法人『柏』理事長
 高津戸荘 主任
 桐生西RC 名誉会員
 桐生西RC入会予定者
 桐生タイムス社
 上毛新聞わたらせ支局

水澤末吉様
 関根雅広様
 星野精助君
 松尾章司様
 中澤時雄様
 奥木秀幸様

◆会長報告 下井田会長

1. 齋藤憲一会員の奥様のご逝去され、齋藤会員から会員皆様に対し、お手伝い頂いた御礼と、会葬の御礼についてご挨拶したいとご連絡をいただきました。先生も大変お疲れのようで、また本日の例会が通常例

会ではないので、次週の例会でご挨拶して戴くことにいたしましたので、ご報告致します。

2. チリ復興基金についてのお願いが、地区を經由してロータリー財団から届いております。チリ地震への支援金は、年次寄付の実績にも、ポール・ハリス・フェロー等の対象にもなりません、クラブや個人のロータリー財団の寄付合計に加算されるそうですので、ご協力をお願い致します。

◆幹事報告 向田幹事

- ◇本日高津戸荘さんのご好意によりお茶とお菓子を各会員に頂戴致しました。
- ◇家族会春の日帰りバス旅行の参加申込み者が予定数

に達しました。これからお申込をされる方は、お早めにご連絡をお願い致します。

◇高森会員事業所の連絡先が変更になりました。ご用の方は事務局へお問い合わせ下さい。

◆委員会報告

□出席委員会

総数48名（免除者8名の内5名出席の為3名を除く）



司会進行
岡田善孝
職業奉仕委員長

会長挨拶
下井田秀一
会長

水澤末吉
理事長挨拶

高津戸荘
との歴史を語る
金子福松
奉仕PJ委員長

施設概要
を説明される
関根雅広
主任

出席率対象者45名 出席率対象者出席人数36名
欠席者9名(内前メイク2名) 出席率84.44%
前々例会修正出席率97.83% (最終欠席者1名)

□ニコニコBOX委員会

石川委員長

高津戸荘に訪問させて頂きました 名誉会員・星野精助君

□ロータリー財団委員会

栗原委員

結婚70年を元気に迎えました 名誉会員・星野精助君



桐生西RCと高津戸荘の交流の歴史

奉仕プロジェクト委員長 金子福松君

養護老人ホーム高津戸荘を初めて慰問したのは、今から約38年前になります。その時のことからお話しします。

1971(昭和46)年11月12日に桐生西RCが創立され、国際ロータリーに認証されたのが、世界で15,000番目というラッキーナンバーだった為に、国際ロータリーの公式機関雑誌『The Rotarian』から、記者が取材に来るということになりました。それでは社会奉仕活動として高津戸荘を慰問しているところに取材に来てもらおうという事になり、その年の12月7日、全会員で慰問し、お土産に大きなクリスマスデコレーションケーキやソーメンなどを贈り、又、入所者のお年寄りと歓談したり、一緒に囲碁や将棋を楽しんだりして、和やかなひとときを過ごしました。

この時、The Rotarian 誌から2名の記者が取材に同行しました。翌年のThe Rotarian 2月号に写真3枚入りで、「R I加盟認証15,000番目の桐生西RCが社会奉仕活動として、養護老人ホームを慰問しました」という内容で掲載され、全世界に配布されました。

それ以来、毎年継続的に交流が続いています。敬老の日のお祝いに参加、クリスマスにケーキ寄贈、観桜会に参加などがあります。特に観桜会は高津戸荘と桐生西RCが共催という形式で開催され、来賓を多数招待し、マジックトリオとして、鳥嶋会員を始めとする3会員がマジックを披露して皆さんに大変喜んで戴きました。

ただ、その年度の会長、幹事、社会奉仕委員会、会報委員会など、4~5人の会員のみの参加の為、高津戸荘に来たのが今日が初めてという会員もいると思います。今迄に全会員で訪問したのは、創立時と他に1度だけあり、今回が3度目だと思います。

又、桐生西RC創立10周年記念事業の一つとして、1982(昭和57)年3月、高津戸荘に時計塔を寄贈しました。当初門に入ってすぐの所にあったのですが、現在は建物の前の高台の良く見える場所に移されています。

この様に、継続的に長年にわたり高津戸荘に社会奉仕活動を行っている事が認められ、1985(昭和60)年2月に『意義ある業績賞』を戴き、地区内全クラブに紹介されました。

38年という長い年月の間には、いろいろと変化がありました。特に人の動きは著しいものがあります。

しかし、人は変わっても、その時々々の会長や幹事、社会奉仕委員長が中心になって、今後共、桐生西RCと高津戸荘の交流が続いて行ける様、願っております。

下井田年度第3回ゴルフコンペ

3月11日(木) 鳳凰ゴルフ倶楽部



優勝 家住慧路君

大雪に見舞われた後の最悪のコンディションの中、スタート時間を1時間以上遅らせて開催しました。ハーフで切り上げ、和風レストランやまもとで表彰式を行いました。翌日の例会で、優勝の家住君にカップが渡されました。

参加者16名



理事会報告 3月12日

1. 新会員 松尾章司君の入会式を4月2日の例会で行い、会務分担を親睦委員とする。
2. 4~6月の例会変更承認。
3. 桐生5RC合同群馬大学工学部留学生交流会は、負担金5万円を国際奉仕委員会予算より拠出し、割当参加数16名は全会員に募り、会費4千円は参加者負担とする。
4. 群馬境RC創立40周年記念式典は2名登録する。
5. 三和会チャリティゴルフ大会は4名参加し、参加費と協賛金は社会奉仕委員会より支出する。

《次例会予告》

4月2日(金) 栃尾RC歓迎夜間例会
点鐘 PM6:30、会場 桐生プリオパレス